

教員氏名：奈良 誠人（教育学科・スポーツ教育専攻／教授）

1. 教育の責任（何をやっているか）

担当している授業科目とその説明 スポーツ教育専攻に所属し、主に、教員免許と保育士資格取得の両方で重要になる必修科目の「衛生学・公衆衛生学」「子どもの保健」と健康運動指導士の資格取得で必要になる「生活習慣病と身体運動」を担当している。学科における学生指導の基盤に位置付けられている「ゼミ」では、1年生から4年生までを担当し、学生指導および卒業研究の指導（教育学研究法）を行っている。そのほかに、今までに健康に関する授業を担当してきた。また、併設の育英短期大学では、保育学科で保育士資格取得に必要な「子どもの保健」を担当している。群馬大学医学部の非常勤講師として医学科の学生実習を担当している。

現在の主な担当科目一覧		
育英大学	スポーツ教育専攻	衛生学・公衆衛生学、生活習慣病と身体運動、教育学研究法
	児童教育専攻	子どもの保健、教育学研究法
育英短期大学	保育学科	子どもの保健
群馬大学	医学部	医学科学生実習

2. 教育の理念（なぜやっているか）

専門教育を研究するものとしての理念とその背景や経験 私は、内科の医師であり、群馬大学医学部附属病院では、臨床検査医学や院内感染対策に携わってきた。医学部の学生に対しては、検査学、感染対策の講義および実習を行ってきた。研究では、検査方法、糖尿病、甲状腺疾患、内分泌疾患、感染対策およびラットにおける運動について携わってきた。

学生の学習に対する理念 私が担当する「衛生学・公衆衛生学」は、教科に関する専門的事項であり、「子どもの保健」は、保育の対象の理解に関する科目であるため、いずれも医学的な内容を含み、学生にとって難易度の高いものである。そのため、医学用語の説明から始まり、イラストや写真を提示するなどして、できる限りわかりやすく、理解しやすい

授業にしている。また、課題の発表や振り返り問題を行うことで、授業の理解度を高めている。「教育学研究法」では、卒業研究に関する基礎から実践まで指導している。

社会における大学教育の位置づけ 教職や保育士は、教育・保育をとおして社会活動を支えている仕事であるため、大学教育の位置づけとしては、教師・保育士を育てることによって社会貢献をしているととらえることができる。

3. 教育の方法（どのようにやっているか）

具体的な教育上の実践や教材の工夫 講義では、パワーポイントを使用し、イラストや写真を提示し、疾病の原因や症状などをわかりやすく説明している。また、資料は印刷しての配布や Google Classroom から配布している。「衛生学・公衆衛生学」では、授業の最後に課題を提示し、次回の授業の最初に学生に発表してもらっている。また、歴史上流行した感染症についての動画を視聴し、衛生学・公衆衛生学の観点から感染症がなぜ流行したのか、なぜ流行を止めることができなかつたのかを問う課題を出している。課題は成績の評価対象としている。「子どもの保健」では、振り返り問題を配布し問題を解き、その日の授業の理解度を高めるようにしている。また、授業で印象に残ったことや学んだことを書かせ、次回の授業の参考としている。「教育学研究法」は、学生自身がどのような卒業研究をしたいのか、その研究を行うためにはどのような準備が必要か、どのような実験を行うかを学生自身に考えさせている。また、論文の書きかたを指導するにあたって、学生自身に卒業研究に関する論文を検索させ、ゼミの時間にその論文を発表させている。自分の卒業研究に関する論文を読み、発表することにより論文の構成、書き方、研究の進め方を学ばせている。

学生との関係構築のための工夫や配慮 授業で印象に残ったことや学んだことを書かせ、質問や理解しにくいことがある場合は、次の授業で補足説明を行っている。授業の振り返りの記述では、学生の授業に対する理解度や興味度がわかり、授業を進めていく上でとても参考になっている。卒業研究では学生個々にあった相談、指導を行っている。授業を欠席した学生には資料を配布している。

4. 教育の成果（行った結果どうだったか）

学生の学習成果 学生の成績は、おおむね正規分布に近い傾向を示した。高得点を挙げている学生は一定の割合でいるが、授業に対する理解度が大多数の学生と比較し、一定のレベルに達していない学生もいる。一定のレベルに達していない学生は、欠席の多さと関係するよう思える。

学生による授業への評価 パワーポイントを使用し、イラストや写真を提示して、説明するため、授業が分かりやすいと評価する学生がいる一方、医学用語が難しいとする学生もいる。今まで医学用語に馴染んでいない学生が大多数のため医学用語を説明しても難しいと感じる学生がいるため、さらに理解しやすい授業づくりを進めたい。

5. 教育における今後の目標（これからどうするのか）

短期的な目標 医学・医療に関する内容が多いため、学生が実際にどの程度理解しているか、不明瞭である。学生の理解度を的確に把握する方法を構築したい。

中期的な目標 学生の理解度を把握したうえで、講義に必要な資料（紙ベース、動画等）を作成、活用を行いたい。

【添付資料】 ※全部又は一部の現物を省略しています。

- 1 担当科目のシラバス
- 2 授業で使用しているスライドのサンプル

(2024年8月31日現在)